

価値共創への招待～信頼の醸成

地域との共生

ブリヂストングループは、150か国以上で事業を展開し、世界中の人々と共に持続的な社会価値・顧客価値の共創に努めています。

当社グループは各地域で抱える課題に対し、パートナー、お客様、従業員と共に、解決に向けた様々な取り組みを進めています。これらの長期的な取り組みに加え、自然災害の発生時など、緊急性の高い支援が必要な場合は、迅速に地域社会を支援する活動を行っています。

地域の人々と共に価値を生み出しながら信頼関係を築く

ことは、当社グループのサステナビリティフレームワークの重要な構成要素として位置づけられています。この取り組みを通じて、「Bridgestone E8 Commitment」の「Empowerment すべての人が自分らしい毎日を歩める社会づくり」、「Ease より安心で心地よいモビリティライフを支えること」にコミットしていきます。より安心・安全で、健やかな地域づくりを推進し、インクルーシブで開かれた教育を将来世代に提供するために、次のような取り組みを進めています。

■ 交通安全に関する取り組み

世界では毎年135万人以上が交通事故で命を落としている^{*1}とされ、交通安全はグローバル共通の課題と認識されています。当社グループも、タイヤメーカーとして安心・安全な移動やレジリアントな社会基盤を支えていくために、交通安全が重要な課題と捉えています。

安心・安全な移動のためには適切なメンテナンスが重要となることから、より安心なモビリティライフを支える「Ease」の

一環として、お客様や地域の方々にタイヤの安全点検などの安全啓発活動を実施しています。「Empowerment」につながる活動として、次世代に向けた交通安全や地域社会における生活の質の向上の重要性について啓発しています。また、従業員向けの交通安全教育も充実させ、バリューチェーン全体で安全への意識を高めることで、商品やサービスだけでなく、日々の業務を通じて交通安全に貢献していきます。

主な活動

BSAMが2005年に開始した安全運転の啓発活動「Think Before You Drive」は、教育プログラムや教材を通して交通安全の大切さをドライバーに再認識してもらうことを目指しています。シートベルトの常時着用、タイヤのアライメント調整やバランス調整など、安全運転に欠かせない基本的なルールを守ることの重要性をお伝えしています。メキシコ、コスタリカ、コロンビア、エクアドルでは、交通事故や危険運転を減らすことを目的に、大学や政府機関と連携し、学生や地域の皆様を対象にこの教育プログラムを実施しています。

ポーランドのポズナンでは、2008年より、従業員のボランティアによる交通安全教育に取り組んでいます。衝突試験用のダミー人形を模したキャラクターと一緒に交通安全に関するインタラクティブな授業を行っています。これまでポズナン

市周辺の500以上の学校、33,000人以上の学生に450のワークショップを実施してきました。



*1 出典:世界保健機関「Global status report on road safety 2018」

中国・アジア大洋州域では、BSCAPが各国の交通安全の取り組みを一つの地域プログラムとして統括することでシナジーを創出し、地域社会の皆様ならびに従業員のエンゲージメントをより高めるべく活動しています。グループとして様々なパートナーと協力しつつ、実行に際しては各国の特徴に合わせた交通安全プログラムを実施しています。

活動の一例として、オーストラリアとニュージーランドでは、Rotary Youth Driver Awarenessと連携した若者向けの交通安全教室を実施しています。2021年は41,000人以上の学生に対し、道路上で責任ある行動が取れるよう、運転者及び同乗者としてのマナーを含めた啓発活動を実施しました。



中国では、Safe Kids Chinaと共に交通安全プログラムを推進しています。Safe Kids China主催の研修を受講した従業員ボランティアは、道路の利用状況に関するデータ収集を行う現場観察に参加しました。この観察結果は、地域の学校で実施される交通安全教育のカリキュラムに活用されています。

また、タイでは、子どもたちの交通安全と道路での安全な行動への意識を高めるため、「Bridgestone Global Road Safety」プロジェクトをピーケットで開始しました。交通安全NGOのGlobal Road Safety Partnershipや地域のパートナーと協力し、学生の安全な行動を呼びかけるインタラクティブなゲームやコンテストを行う交通安全デーなどのイベントを実施しました。また、地域のインフラ整備も行い、通学路の安全向上に貢献しています。



■ 次世代の学びを支える

当社グループは、人々の生活の質の向上と職能の開発につながる教育が重要であると考え、事業を展開する地域においてインクルーシブで開かれた教育を支援しています。特に初等教育や技術・職業訓練に重点を置き、タイヤの製造・販

売で培った強みを活かし、次世代の自動車整備のプロフェッショナルを育成するための様々な研修プログラムを提供しています。

主な活動

日本では、ものづくりに関わる環境への取り組みを通じてビジネスと環境を両立させることの難しさや大切さを学ぶことができる「環境ものづくり教室」と、グローバル企業である当社グループの従業員が、文化や習慣の違う人とのコミュニケーションの難しさ・大切さを体験しながら学ぶ「グローバルコミュニケーション教室」を行っています。2021年は、「環境ものづくり教室」を12回、「グローバルコミュニケーション教室」を9回開催し、合計1,809人の小中学生が参加しました。

BSAMは、米国の全国的な自動車整備技術者不足に対応するため、次世代の自動車整備技術に関する様々な教育を行っています。地域のパートナーや教育指導者と協力し、



テネシー州ナッシュビルではMaplewood High School Automotive Training Centerを、またオハイオ州アクロンではEast Community Learning Centerの Bridgestone Academy of Applied Engineering & Technology(ブリヂストン アカデミー オブ アプライド エンジニアリング アンド テクノロジー)を支援しています。両校とも、ファイアストンの店舗を模した施設での実地学習や

当社グループの技術者による指導などを含む4年間のカリキュラムを提供し、自動車整備業界でのキャリアを築くための支援をしています。2021年に、両校あわせて185名以上の学生がプログラムを受講し、Maplewood High Schoolでは、45名以上の卒業生が自動車業界で就職し、East Community Learning Centerでは、50%以上の学生が卒業前に技能の認定を取得しています。

■ 他の活動

日本では、当社グループが創業当時から続けてきた“人々の生活と地域社会に寄り添い、一人ひとりを支える活動”を、Active and Healthy Lifestyleの頭文字を取り「AHL」と名付けました。すべての人が心身ともに健康で、個性を活かし、自己実現を果たしながら、多様な人々が互いに認め合い、助け合う共生社会を築くための活動となります。この共生社会の実現に向けて、高齢者や障がい者が抱える社会課題を、地域社会や様々なパートナーとの共創によって解決することを目指しています。

2021年には、スポーツを通じた共生社会の実現に向けた取り組みとして、障がい者や高齢者、当社従業員が一緒にス



ポーツを楽しむ「ごちゃまぜスポーツの日」を横浜工場で3回開催し、合計93名にご参加いただきました。

BSEMIAは、運動に関する情報を「B-Olympic」というデジタルプラットフォームを通じて定期的に発信し、従業員の健康的な生活を促進しました。従業員が合同でウォーキング、ランニング、サイクリングなどに取り組み、2021年は150万キロメートルの距離を達成し、距離に応じた金額である約1,885万円^{*1}を15の地域のがん慈善団体に寄付しました。

ブリヂストン アジアパシフィック ピーティーイー リミテッド(BSAP)とブリヂストン タイヤセールス シンガポール(BSTSG)は、支援を必要としている人々に食事を届けるNPOのWilling HeartsがCOVID-19の拡大する中でもその活動を継続できるよう支援しました。Willing Heartsの10台の配送車両用にタイヤを提供し、安全なタイヤの使用や交通安全に関する啓発活動を行いました。2021年には、BSAPとBSTSGの従業員は120袋の生活必需品をWilling Heartsが支援を行う人々に寄贈し、食事の提供にも協力しました。

当社グループの地域との共生に向けた取り組みについて、詳しくは[Webサイト](#)をご覧ください。

*1 1ユーロ=130円で換算